

## 猪苗代湖の水

この日は小雨交じりの生憎の天気であった。猪苗代湖は灰色の世界で覆いつくされていた。ここは福島県のほぼ中央に位置し、北に日本百名山の一つ磐梯山（標高 1816mの活火山）を有する風光明媚な場所である。湖の大きさは琵琶湖、霞ヶ浦、サロマ湖に次いで日本第4位（面積は 104 平方km）。湖面の標高は 514m、周囲 49km、深さは 93.5m、透明度は 12~15 の澄んだきれいな水である。

湖に注ぐ長瀬川が火山性の酸性水であるため、水質は弱酸性の貧栄養湖である。そのためプランクトンが少なく、水中の有機物の量は日本で最も少ない湖となっている。したがってここではウグイやフナなどの限られた魚が釣れるとのことだ。また国指定天然記念物のミズスギゴケ群落や白鳥の飛来地として貴重な生態系を保有する区域に指定されている。

猪苗代湖を訪ねたのは 2 度目である。40 年前に東京から新潟に向かう途中で、その日は雲一つない日本晴れの爽やかな天候であった。湖は陽光に照らされキラキラと輝いていた。岸辺の砂浜には家族連れが水遊びを楽しんでいた。平和で幸せな光景が今も目に浮かぶ。そのあと少し寄り道をして大小 300 程の湖沼群が点在する磐梯高原に足を延ばした。その中に観光名所として名高い五色沼があった。季節、天気、時間、水質により水の色が変わるといふ不思議な沼であった。特にコバルト色に輝く見事な沼が今も目に焼き付いている。

岸辺に釣竿が置かれていた。何が釣れるか。きっと大きな夢が釣れるかもね。



撮影 2014 年夏

